魅せる自動焙煎機「NOVO MARKII」のあるお店 限定の、ブランド豆、AGE of NOVO。

それは、個性ある珈琲を作る農園が、それを出すお店が、互いに楽しく、誇りをもって、長くご商売を続けてほしい、そんな願いを実現すべく、農園の協力を得て、京都の焙煎機メーカーが作りあげた、新時代のスペシャルティコーヒーのブランド豆です。



AGE of NOVO

1、個性的な香り、味わい。

毎年、少しずつ変化する。時には調子が悪い時もある。それが農産物。コーヒーの生豆もそのひとつ。そのため産地では零細農家から持ち込まれたそんな生豆をある程度混ぜてから選別し、味のバランスをとることがほとんど。しかし、中には他にない独自のやり方で、個性的な味を、丁寧に作る、そんな零細農家や集落、水洗工場(アフリカでは水洗工場単位で豆が作られる)もある。それらを混ぜてマイルドに中和するには忍びない、その農園の尖った部分、つまり、こだわりを残したい。個性を殺さずに、その個性が輝くように。農園の小さなこだわりが、貴方の一杯に、心に届いてほしい。そんな想いが、味に、香りに、反映されています。

2、笑顔がこぼれる生産者から毎年届く超マイクロロット。

「AGE of NOVO」は、一定のスペシャルティコーヒーの評価基準のもと、こちらのマイクロロット(多様で少量な農産品)にて生産していただける農家には、カッピングスコア80点の最低限の基準をクリアしていれば、毎年適切な価格で買うことをお約束しています。ただ無条件に永続的に買うわけではありません。収穫後のタイミングで、弊社のQアラビカグレーダーがカッピングし、リクエストや改善要求も行います。互いに長く続けて、長いおつきあいをするために産地にフィードバックし続けます。今年の豆は去年よりずっといいね、物凄い香りが良くなった、凄い頑張ってくれたんだね、なんて声をみなさまにもいただきたい。その声を農家の方にもっともっとフィードバックしていきたい。その声はきっと、農園のひとたちの誇りとなり、希望となるでしょう。



3、新鮮で、毎日飲める価格のスペシャルティコーヒー。

「こちらのお豆はですね、カップオブエクセレンスで13位、ほら、香りがまるでブラックカラントのよう、お値段は一杯2000円です。」と言われると、「フツーでええんじゃ、フツーで。」と、スペシャルティコーヒーから離れてしまったという方も多いのではないでしょうか?

「AGE of NOVO」は、そんなオークションなどで取引されるスペシャルティコーヒーとは対極、適正な価格で農家さんから仕入れます。それは、珈琲を購入していただくお客様にも、毎日、楽しんでもらいたい、そう願っているから。毎日楽しめるような価格でないと、結局のところ、その豆はごくごく一部のお金持ちの方しか楽しむことができず、農園の方と毎年契約する量の販売ができず、結果、毎年購入するとした農家との約束を果たせません。これらのスペシャルティコーヒー豆は決して誰にでも買えるものではありません。私達だけのために、信頼関係で結ばれた農園が、毎年文字通り「とっておきのもの」を送ってくれる。その豆を、NOVO MARKIIのあるお店でなら、いつでも新鮮な状態で購入できます。時に高額な豆は店頭で売れ残り、古くなっていることもあります。そんな心配がまるでない、毎日、最高の香りで飲める、そんなディリーなスペシャルティコーヒービーンズの登場です。

